

くまもと

☎ 議会だより

89号
2018.1.25



虹も出た放水競技

1月5日総合運動公園で、消防出初式が実施されました。(12ページに関連記事)

もくじ

12月の定例会	2~3
一般質問における発言の要旨一覧	4
一般質問	5~11
新年の行事	12

補正予算2,005万円を可決

第7回12月定例会は、12月11日から14日までの4日間の日程で開催され、条例制定1件、平成29年度の一般会計及び介護保険特別会計、簡易水道特別会計の補正予算3件、人事関係2件の6議案を初日に上程しました。2日目12日には、当初上程の全議案を審議し、それぞれの議案を可決、同意しました。一般質問では、7人が登壇し、各種施策や行政課題について執行部の考えを質しました。最終日にはまた、議員発議で、「道路事業予算の総額確保等に関する意見書」案が上程され可決されました。

定例会初日の11日は、まず9月定例会以降の諸般の報告、例月出納検査結果報告、人吉球磨広域行政組合議会の報告、人吉下球磨消防組合議会の報告を行いました。

続いて、条例関係1件、平成29年度の一般会計・介護保険特別会計・簡易水道特別会計の補正予算関係3件、固定資産評価審査委員会委員の選任同意2件の6議案を上程しました。

平成29年度一般会計 補正予算など全議案 を審議、可決

条例関係では、「球磨村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定」で、これは平成29年人事院給与勧告・熊本県人事委員会勧告に基づき改正を行うもので、原案のとおり可決しました。

補正予算関係では、平成29年度の一般会計並びに介護保険、簡易水道の各特別会計の補正予算を原案のとおり可決しました。

一般会計の主なものは、過年度分臨時福祉給付金等補助金等返還金、森林・林業・木材産業基盤整備交付金を活用した林道工事費、村道・河川改良工事等に対する補償費などで2005万4千円を追加し、歳入歳出総額36億6640万5千円となりました。

人事関係

任期満了に伴う村の固定資産評価審査委員会委員の選任同意について、次の方を全会一致で推薦及び選任同意しました。

・固定資産評価審査委員会委員 大坂間茂さん（柳詔地区）、横井哲夫さん（横井地区）



球磨中3年生が傍聴した12月定例会

【一般質問】

13日の一般質問には、田代利一議員、犬童勝則議員、高澤康成議員、宮本宣彦議員が登壇。地方創生事業、農業振興、教育諸問題、移住定住対策、公民館活動など。

14日の一般質問には、嶽本孝司議員、舟戸治生議員、小川俊治議員が登壇。安心安全な環境、管内公共施設の維持管理、むらづくり、障害者対策、行政区活動と自主防災組織など多岐にわたって執行部の考えを質しました。
(詳細は5頁〜11頁に掲載)

また、議員発議による「道路事業予算の総額確保等に関する意見書案」を全会一致で可決しました。

これは、国に対して、平成29年度までの時限立法である交付金事業の補助率等の措置を、地方の財政状況を考慮し、平成30年度以降も継続するように求めた意見書です。

議案等の審議結果

日程	議案番号	件名	結果
第1	議案第32号	球磨村一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
2	議案第33号	平成29年度球磨村一般会計補正予算について	原案可決
3	議案第34号	平成29年度球磨村介護保険特別会計補正予算について	原案可決
4	議案第35号	平成29年度球磨村簡易水道特別会計補正予算について	原案可決
5	同意第9号	球磨村固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	原案同意
6	同意第10号	球磨村固定資産評価審査委員会委員の選任同意について	原案同意
7	発議第2号	道路事業予算の総額確保等に関する意見書案	原案可決

一般質問における発言の要旨一覧

質問者	質問の要旨
田代利一議員	<ul style="list-style-type: none"> ①地方創生推進交付金の進捗状況 ②企業誘致 ③ふれあいまつり会場の整備 ④分会対抗駅伝大会
犬童勝則議員	<ul style="list-style-type: none"> ①球磨村農業再生協議会・くま農業活性化協議会の内容と成果 ②田舎の体験交流館「さんがうら」の運営
高澤康成議員	<ul style="list-style-type: none"> ①教育委員会自己点検・評価報告における感想と今後の改善点 ②小学校部活動の社会体育移行への進捗状況 ③学校生活の諸問題（いじめ、不登校で心のケアを必要とする生徒への対応）
宮本宣彦議員	<ul style="list-style-type: none"> ①地域おこし協力隊 ②移住定住対策 ③学芸員の配置 ④公民館活動のあり方
嶽本孝司議員	<ul style="list-style-type: none"> ①安心安全な環境づくり ②管内公共施設の維持
舟戸治生議員	<ul style="list-style-type: none"> ①ヘリポートの設置 ②本村の学校現場の課題 ③教育費支援策及び進路指導 ④中学校の部活動 ⑤農業の高齢化と後継者不足 ⑥有機農業 ⑦落石対策 ⑧プレミアム商品券と鳥獣害対策
小川俊治議員	<ul style="list-style-type: none"> ①障害者政策 ②行政区活動と自主防災組織

球磨村には強い資源があるという
ことへの取り組みは

答 市田柿の栽培や地域住民の雇用の促進など
里山の無限の可能性を知った

田代議員 地方創生交付金は地域の
実情に応じたまち・ひと・しごと創
生推進を後押しするものである。本
年度は2500万円の予算により取
り組まれているが、これまでの各種
事業の進捗状況は。また、定住促進
住宅永崎団地の進捗状況は。

の栽培を行っており、今後は農泊推
進事業と連携し、棚田オーナー等の
事業展開により、地域住民を巻き込
んだ取り組みによる地域再生にも波
及できる仕組みを構築する。
定住促進住宅永崎団地は、10月
3日に工事の入札後、工事に着手、
12月中に外壁工事が終わり、年明
けには内装工事に取り掛かれる段階
で2月末までには完成の見通しであ
る。完成後は、速やかに入居者の募
集を行い、本村のしごと創生につな
げたい。

柳詰村長 「かわせみ」が事業主体
となっている清流を活用した産業創
出事業と、「さんがうら」が事業主
体である日本の棚田百選耕作推進事
業の2点について、申請が上がって
いる。

田代議員 企業誘致については、他
町村に先だって率先的に取り組まれ
ており、議員研修での長野県の株式
会社かぶちゃんファームの取り組み、
木質バイオマス発電所やメガソー
ラー等の視察では、その規模と事業

清流を活用した産業創出事業のヤ
マメの養殖では、2人の雇用を図り、
3月に稚魚導入から養殖技術の習得
を行った。本年度は採卵技術の習得
を行う。日本の棚田百選耕作推進事
業では、雇用を継続し、水稻とソバ

内容に感銘した。年間を通じた地域
住民の雇用確保、市町村という地域
資源を活用した6次産業化や環境に
優しい再生可能エネルギーは素晴ら
しいものであった。かぶちゃんファ
ームの松谷棚田オーナー制度における
クリ栽培及び、高沢の木質バイオマ
ス発電所建設の進捗状況は。

高永企画振興課長 クリ栽培につい
ては、梅ノ木鶴で240アールの村
有地で、現在は主に老木の伐採作業
が行われており、苗木の補植も予定
されている。高沢の木質バイオマス
発電所建設は、年度内着工を目指し
て準備をされている。

柳詰村長 多額の工事費が必要にな
るので、補助事業で何か活用できる
かどうか検討したい。
田代議員 分会對抗駅伝大会の日
程が高校生の文化祭や部活動の新人
戦などの行事で参加できない状況と
なっている。日程の変更は。

田代議員 ふれあいまつりにおける
さくらドーム周辺の雨天対策等の舗
装整備は。

柳詰村長 大会要項の検討に際し、
より多くのチームの参加で開催され
るよう検討委員会で意見を聞きなが
ら準備を進めたい。



田代 利一 議員



ゴール！分会對抗駅伝大会

「さんがうら」のこれまでの実績、評価は

答 さまざまなイベントを実施しており、リピーターも増えている

犬童議員 本村は中山間地特有の

地形から、兼業農家が圧倒的に多く生産性も極めて厳しい経営状況にある。そこで球磨村農業再生協議会の総会が開催されたが、その内容を伺う。

柳詰村長 球磨村全域において経営

所得安定対策の推進及び、これを円滑に実施するため行政と農業者団体等の連携体制の構築、戦略作物の生産振興や地域農業の振興を目指し、あわせて農地の利用集積、耕作放棄地の再利用、担い手の育成・確保等に資することを目的にしている。

犬童議員 集落営農の組織化という

点で、現在、渡地区で話が進んでいるが、進捗状況は。

永椎産業振興課長 渡地区をひとつ

のモデル地域と定め、今後の地域農業の意見交換会という事で、耕作者に対して勉強会をしている。

犬童議員 将来的には法人化を見据

えての集落営農なのか伺う。

永椎産業振興課長 農地バンクのも

とで法人化し取り組ませてもらえばと思っている。

犬童議員 近年耕作放棄地がいた

るところで見受けられるが、農地を守る分野からも、地域の活性化のためにも、有効に活用すべきだと思っている。そこで村としての具体的な対策は。

永椎産業振興課長 耕作放棄地につ

いては増加傾向であり非常に懸念をしている。中山間直接支払い制度、あるいは多面的直接支払い制度等、有効な補助事業を活用しながら、耕作放棄地の増加につながらない施策を行っている。

犬童議員 今年で7年目を迎える田

舎の体験交流館「さんがうら」のこれまでの実績、評価を伺う。



犬童 勝則 議員

柳詰村長 主要事業の一つである都

市住民との交流については、さまざまな体験、メインイベント等を実施しており、ファン、リピーターも増えているようだ。

犬童議員 農泊事業について

具体的な取り組みは。

高永企画振興課長 「さんが

うら」に宿泊してもらい、食事を「さんがうら」でしていただき、各農家で体験してもらおうという仕組みだ。

犬童議員 地元のかかわり

という点から、棚田オーナー制度での地元の協力はあったか。

高永企画振興課長 運営委

員会が主体であるが、地域



7年目を迎える田舎の体験交流館「さんがうら」

の方々協力があって、「さんがうら」の運営が成り立つと思っている。
犬童議員 今後の「さんがうら」の将来像は。
高永企画振興課長 本年度から農林水産省の農山漁村振興金を活用し、農泊事業を推進している。「さんがうら」を一つのモデル事業と考え、球磨村全体に農泊事業を展開していく。

教育委員会の自己点検・評価報告への感想は

答 生徒の学力は確実に上昇している

高澤議員 平成28年度球磨村教育委員会自己点検・評価報告が公表された。村では、第5次球磨村総合計画の水と緑と人がきらめく球磨村をキーワードとした教育活動の基本方針、施策の体系、基本計画等の展開に関し、教育費関係予算の執行状況や、事業推進の面で総合的な観点から外部評価委員の評価や意見をまとめたものである。学校教育重点目標・社会教育の重点目標を達成するため、具体的な取組を着実に事業推進されており、すべてにおいて評価できる・まあ評価できるとの結果であった。しかし、教育委員会として外部評価委員会からの評価を受け、今後における取組は記載されておらず、改善や今後の取組が、住民の知るべきところであり、新たな取り組みと改善を繰り返すこ

とが、人がきらめく球磨村になると考える。教育委員会の活動自己点検、評価に対し村長の感想と、教育長として今後どのような改善すべき点があるのか。

柳詰村長 学校教育・社会教育ともに概ね評価できるとの事であり、一部地域コミュニケーション活動の推進事業においては、やや低い評価であった。ICT教育の効果的な推進、先生方の授業改善へのご努力により児童、生徒の学力は確実に上昇していると確認している。村としても学校施設の改修、改築に力を入れ教育環境の充実に取り組んでいるところである。

友尻教育長 どのような形で教育行政を進めていくか具体的にしていくことは絶対必要なことでありPDC Aのサイクルで進める事が強く求められている。今後意見をしっかりと受

けとめ子供達のため、しっかりと検討させていただく。

高澤議員 部活動の社会体育移行に對する進捗について、この質問は平成28年9月議会において一般質問を行っているが、その後二年間さほど話題にもならず、保護者間において今後の部活動のあり方に不安を感じておられるようだ。前回の答弁で、教育委員会自身が、しっかりとこの社会体育移行に関し方針を持ち、球磨村の実態を考慮したものを持ちアンケート等の実施も含め、対応していかねばならない。放課後全体を見直し地域が一体となり未来を担う子供達の安心安全な居場所を提供し、学校との結びつきを深め、地域の子供達を地域の大人が見守り、育てていく環境が整備されるものでは

ないかしっかりと地域の方々には訴えていかねばならない。先生方が時間外のところはスマイルスポーツクラブの指導者として入っていたりなど答弁されておりました。この部活動の社会体育移行は多岐にわたる課題や問題点を村・学校・保護者・地域と共に情報を共有し、課題を一つ一つ精査していく事が重要であると考えているが。

友尻教育長 進捗状況や情報等しっかりと進めていかねばならなかったと強く反省している。現在、指導者の発掘において苦慮している状況である。



高澤 康成 議員



社会体育への移行が検討されている小学校部活動

地域公民館活動への支援は



行政区の状況を踏まえ、今後大きなレベルでの視点・観点からの取り組みが必要である。支援は、来年度予算編成の中で判断したい

宮本議員 地域おこし協力隊の活動

状況及び移住定住コンシェルジュの採用による展開と移住定住の状況は。

柳詰村長 地域おこし協力隊は、平成29年度、田舎の体験交流館「さんがうら」に配置し、地域・行政と連携しながら、地域資源を活用した新たなツーリズムの開発や、地域行事等コミュニティ活動の応援や地域おこしの支援活動を行っている。移住定住コンシェルジュは、先日3名の応募の中から1名採用した。今後、人口減少をいかに食い止めるのか、定住促進や子供たちを健やかに安心して産み育てる環境づくりが求められる。移住定住を自ら実践し、球磨村のよいところを発信してもらいたい。

高永企画振興課長 移住定住について、相談者は24名。遠くは千葉県・埼玉県から球磨村においでいただ

き、空き家等を案内した。実績として、移住者が5件、定住者が1件である。

宮本議員 移住定住対策における空き家等を活用した事業の企画や起業支援は。

柳詰村長 起業支援については、地方創生拠点整備交付金を活用し、一勝地駅と渡駅にチャレンジショップとレンタルオフィスを整備し、施設に関する支援を行うこととしている。また、企業立地促進条例に基づき、村内に工場等を新設または増設する企業に対して、固定資産税の減免を行うこととしている。

宮本議員 球磨村には、自然に育まれた天然記念物、神社仏閣や伝統芸能など多くの文化財が存在している。学芸員の配置の考え及び文化財の保全管理や文化財の観光への利活



宮本 宣彦 議員

用は。

柳詰村長 球磨村で条例に基づき指定している文化財は、そのほとんどが地域または個人所有による管理となっている。貴重な文化財、古文書など、継続的な保管と管理が必要と思われる。文化財と観光を融合させた利活用については、学芸員の配置が村の観光振興にとっても有効に作用していくのかということについては、もう少し検討を重ねたい。ただ、文化財の保全管理等の面では、学芸員の配置はその必要性について再度確認し、配置の方法について十分検討を行い、判断したい。

宮本議員 全体的な活動を展開する公民館分館活動のあり方は。

柳詰村長 文化的なものから助け合



現在建設中の永崎団地（球磨中運動場横）

通じ、お互いのきずな、連携感を深め、地域を発展させ、創造していくその拠点となるものが公民館と考える。

友尻教育長 公民館活動は、地域の活性化や地域の皆様の豊かな生活にいろんな面で直結していくものであるという認識を持っている。村には6つの分会があるが、これを6つの分館とする形での公民館活動というものが考えられないか。

合併浄化槽の保守点検について

答

干渉はできない状況にある

嶽本議員 大規模災害における、避難場所の整備についての考えを。

柳詰村長 村指定の緊急避難所の、再整備を検討しなければならないと考えている。いずれにしても、平成30年度に行う予定の、球磨村防災会議のブロック会議の成果報告書としてまとめ、整備を進めていきたい。

嶽本議員 北朝鮮のミサイルへの対応は、どうなっているのか。

柳詰村長 九州・中国地方の上空を通過する場合は、いわゆるJアラートの送信を受け、本村防災行政無線を通じ自動送信され、住民に伝達される仕組みになっている。この際、職員は速やかに災害対策本部体制に移行することとし、熊本県及び地域振興局との連携に入ることになる。

嶽本議員 次に、教育委員会の関係で、スクールバス運行時の乗降場所の安全性は確保されているのか。

柳詰村長 スクールバス乗降の際は、スクールバス運転手が、児童、生徒の安全に十分配慮しており、これまで乗降の際の危険性は報告されていない。

嶽本議員 屋根のあるスクールバス乗降場所はどれだけあるのか。

山口教育課長 これまで教育委員会で設置したものはないが、地域の方々が設置したものや、消防施設、お堂などスクールバス乗降34ヶ所中、25ヶ所ある。

嶽本議員 古くて修繕しなければならない所もあるが。

山口教育課長 地域で設置されたものについては、共助のむらづくり補助金等を使っての修繕をお願いしている。

嶽本議員 次に、村が管理する施設の電気の省エネルギー化の取り組み状況は。

柳詰村長 昼休み時間帯の庁舎内消灯や照明器具のLED化での節電をはじめ、平成29年5月からは、高圧電気設備の九電部分と民間会社との部分供給契約を行ったところだ。

嶽本議員 次に、合併浄化槽の保守点検は、法的には3ヶ月か

4ヶ月に1回でよいことになっている。しかし、実際は衛生設備管理会社との契約で、毎月行われているが。

柳詰村長 例えば、5人槽場合合併浄化槽の場合、年間の保守点検料と清掃料で、5万4432円となる。これを12ヶ月で分割し、月額4536円支払う契約になっているようだ。点検回数を減らしても、料金



嶽本 孝司 議員



役場にある全国瞬時警報システム（Jアラート）

が安くなるわけでもないのが現状だ。この保守点検は、浄化槽設置者と衛生設備管理会社との契約であり、外部からの干渉はできない状況にある。

嶽本議員 田舎の体験交流館「ごんがうら」の屋外炊飯体験施設への期待は。

柳詰村長 2月末の完成予定で、3月からの運用予定だ。交流人口の増加や農泊の推進を大いに期待している。

ヘリポート予定地は設置基準に 適合しているのか

答 いる
小中学校の運動場が進入可能と判断されて

舟戸議員 ヘリポート設置について、

離着陸には、地表面が平坦で整備されていることや、進入区域の50メートル以内に、高さ5メートル以上の障害物がないことが条件となっている。村内の離着陸の予定地として、

小中学校の運動場などがあるが、設置基準に適合しているのか。

柳詰村長 県防災消防航空隊による

調査が、本村13ヶ所を対象に行われた。学校施設の一勝地小、渡小、球磨中、旧神瀬小、旧二勝地第二小の運動場が、進入可能として判断されている。

舟戸議員 次に、学校教育現場の課

題として、現在の教職員の労働時間の実態はどのような状況か。また、教職員の多忙化解消に向けた取り組みは。

友尻教育長 報告では、月平均で約

5人の職員が80時間以上の超過勤務

である。校長を通じ超過勤務が長期に及び職員に対し、指導をお願いしている。また、多忙化解消に向け、

先進的なバーコードを取り入れた勤務時間の管理や、部活動休養日の徹底などを行っている。

舟戸議員 次に、日本学生支援機構

奨学金の種類と、利用のポイントを。

柳詰村長 奨学金は2種類ある。特

徴として、第一種は返済に利息がつかないが、第二種は利息がつくことになる。いづれの奨学金も、借りるには学校の成績や家計収入が設けられ、その基準をクリアする必要がある。

舟戸議員 次に、生徒数の減少が見

られる本村において、中学校の部活動の現状と、生徒を取り巻く環境や現場に変化はあるか。

柳詰村長 中学校の部活動は、しば

らくは学校教育の一環として実施し



舟戸 治生 議員

ていくことになる。限られた種目の中で、生徒・保護者のニーズに沿った活動を行っていく。また、土日の活動は超過勤務の要因となっている。職員も、専門外の部活動を担当しなければならぬ状況の変化はあるようだ。

舟戸議員 次に、有機農業は、各

地で個性的な取り組みが行われ、行政やJAの施策の柱にもなっている。村内で、取り組む人はいるのか。

柳詰村長 生産過程の一部や、土壌

改良などで無農薬化を実施している人はいると思うが、村全体としては把握していない。

舟戸議員 次に、落石の安全対策が

早急に必要なと思うが。

柳詰村長 交付金や補助制度で財源

を確保しながら、対策を進めたい。



ヘリコプター離着陸可能と判断されている球磨中運動場

舟戸議員 最後に、ジビエ料理やそ

の加工品などに利用できるクーポン券や球磨村プレミアム旅行券は、村外の人に球磨村を知ってもらうため必要と思っているが。

柳詰村長 ふるさと納税の返礼品と

して、ジビエ商品を提供することで、消費拡大につなげたい。また、バスツアーを企画する観光業者に対し、現在補助金を交付している。このような取り組みで、観光客の誘致を高めていきたい。

自主防災の組織化の考えは

答 村民の発意を大事にし、積極的に支援していく

小川議員 障害者差別解消法が平成28年4月に施行され、各自治体においても対応要領を策定することが規定されているが本村での取り組みを伺う。

柳詰村長 平成28年4月に周知を行うとともに、球磨村における障害を理由とする差別の解消の推進に関する対応要領を策定し、職員の適正な対応について定め、相談窓口を住民福祉課として対応している。

小川議員 障害者差別についてのトラブルや相談の把握はされているのか。

假屋住民福祉課長 住民福祉課に窓口を置いて対応しているが、これまで障害を理由とした相談は受けていない。

小川議員 担当部署の住民福祉課では対応研修会開催がされていると思

うが、担当部署以外でも研修が必要と思うが考えは。

假屋住民福祉課長 住民福祉課においては研修の機会があるので受けている。対応要領のなかに職員も研修に努めると明記しているので職員全体での研修会も開催していくべきと考え

る。関係課の部署とも相談しながら研修会の開催を行いたい。

小川議員 平成27年3月に策定された障害者福祉計画も3年が経過をし、新たな計画の策定となるが、差別解消法について計画書にどのような形で

反映されるのか伺う。

假屋住民福祉課長 平成30年から32年の障害者福祉計画を策定中で、第1回の審議会を開催した。第5期の障害者福祉計画においては、解消法についても具体的な内容について踏み込

んだところを記載していきたい。

小川議員 行政区のコミュニティ活動についての考えは、再編前と再編後で変わったのか伺う。

柳詰村長 地域公民館活動に対する行政からの支援はより一層必要となる。地域住民の自主性、総意性を生かした地域づくりが大きなテーマとなる。地域コミュニティの範囲の捉え方

と、つくり方が重要な鍵。活性化に向けての村からの働きかけ、支援を効果的に行うかなど、大きなレベルでの視点、観点からの取り組みが必要と考える。

小川議員 災害に対する取り組みとして自主防災の組織化が最重要課題であるとされているが、方向性と組織

の範囲の考えは。

柳詰村長 地域の防災対策は地域住民で考え地域住民で作り上げる自主的な防災組織の編成と考える。行政は、村民の発意を大事にし、地域の課題を確認し、解決・改善に結んでいく方法を手伝う。このような関係を構築する行政の責務として、自主防災組織の発意に基づく必要資料の要望、助成事業にかなう活用要綱を整備し、積極的な支援を行う。自主防災組織は集落の特性を活かしたコンパクトなものを考えている。



小川 俊治 議員



村民防災会議（一勝地地区）

新年の行事

新成人のつどい (1月4日)

今年の新成人対象者は31人で、恩師の先生からのお祝いの言葉や新成人者一人一人の近況報告などで、大変盛り上がりました。



新成人対象者は31人



近況報告する新成人者



操法競技



放水競技

消防出初式 (1月5日)

今年は、通常点検、操法競技、放水競技の3種目で競われ、総合優勝は第3分団でした。



雨のため通常点検はさくらドームで実施

編集後記

あけましておめでとうございます。

地球が誕生して、46億年と云われています。人生百年としても、地球の歴史の長さとは比べれば、畳に刺した針一点の感じではないでしょうか。

さて、私の正月は、箱根駅伝を見ながら議会だよりの編集をするのが、ここ数年の恒例となっております。右手近くに置いてある、コップに注いだお湯割りが邪魔して、なかなか進みませんでした。

春には、議会議員選挙が予定されています。議会だよりも、これが最後の発刊となります。4年間のご愛読に感謝いたします。

多武義治

議会広報特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 多武 義治 |
| 副委員長 | 犬童 勝則 |
| 委員 | 小川 俊治 |
| 委員 | 高澤 康成 |
| 委員 | 宮本 宣彦 |